

(様式2)

## 放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・41〉 いわき市立小名浜第三小学校
〈実施日〉	平成27年9月18日(金)
〈実践教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は( )に教科等を入れてください。 1 理科 ○2 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他( )
〈実践内容〉	1 題材名「放射線ってなんだろう？」 ～第3学年～ 内容(2)カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 2 指導計画 (1) 事前：放射線に関するアンケートから、児童の実態を把握する。 (2) 本時：「放射線ってなんだろう」 (3) 事後：放射線についての正しい知識のもと、生活できるように支援する。 3 授業のねらい 放射線について正しい知識を持つことができる。 4 授業の実際 (1) 本時のめあてをつかむ。 ・ 事前にとったアンケートから本時のめあてにつなげた。 ・ 原発事故の様子を話し、放射線を学習するようになった経緯にも触れた。 (2) 放射線についての知識を持つ。(クイズ・DVD視聴) ・ 大切な内容やキーワードを取り入れたクイズを出題した後、DVDを視聴させた。 ・ DVDの視聴では、自然放射線や放射線の利用について、話のまとまりごとに区切って見せ、理解できるようにした。 ・ 自然放射線や生活の中で利用される放射線と、原発事故で発生した放射線の違いを考えさせることで、放射線は量によって危険度が変わることにも気づかせた。 (3) 本時のまとめをする。 ・ 本時の内容を振り返らせ、授業で分かったことや感想を書かせた。 ・ 放射線については、様々な考えを持っている人がいることにも触れた。
〈成果〉	○ 原発の写真やクイズ、DVDが児童の興味をひき、効果的だった。  ○ DVDは自然放射線や放射線の利用について区切って見せることで一つの知識を定着させることができた。
〈課題〉	● 放射線について、伝えたい内容がたくさんあるので、発達段階に応じて内容を精選する必要がある。  ● 児童に体験的な活動をさせる手立てを考えたい。
資料作成担当者職(教諭)氏名(大沢 卓史)	学校電話番号(58-3343)

### 【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。  
(送信先：[kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp](mailto:kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp))